

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年11月6日 (2008.11.6)

【公開番号】特開2002-355936(P2002-355936A)

【公開日】平成14年12月10日 (2002.12.10)

【出願番号】特願2001-148968(P2001-148968)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

B 3 2 B 27/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/11 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 2 B 1/11 (2006.01)

G 0 2 B 1/10 (2006.01)

C 0 8 F 290/06 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/30 A

B 3 2 B 27/20 Z

G 0 2 F 1/1335

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/027 5 1 3

G 0 3 F 7/11

G 0 9 F 9/00 3 0 9 A

G 0 9 F 9/00 3 1 3

G 0 2 B 1/10 A

G 0 2 B 1/10 Z

C 0 8 F 290/06

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月17日 (2008.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

最上側にある第 1 層と、前記第 1 層の下側にある第 2 層とを含む積層体であって、前記第 2 層が、全固形分中に、下記化合物 (A - 1) ~ (D) を含有し、全固形分濃度が 0 . 5 ~ 7 5 % である有機溶剤系硬化性組成物を硬化させた硬化物であることを特徴とする積層体。

(A - 1) 4 0 ~ 8 0 重量 % の針状アンチモン含有酸化錫

(B) 5 ~ 4 0 重量 % の水酸基含有多官能 (メタ) アクリレートとジイソシアネートの反応物

(C) 5 ~ 3 0 重量 % の多官能 (メタ) アクリレート

(D) 0 . 5 ~ 1 0 重量 % の光重合開始剤

【請求項 2】

最上側にある第 1 層と、前記第 1 層の下側にある第 2 層とを含む積層体であって、前記第 2 層が、全固形分中に、下記化合物 (A - 2) ~ (D) を含有し、全固形分中の針状アンチモン含有酸化錫の含有量が 40 ~ 80 重量%であり、全固形分濃度が 0.5 ~ 75%である有機溶剤系硬化性組成物を硬化させた硬化物であることを特徴とする積層体。

(A - 2) 40 ~ 89.5 重量%の表面処理された針状アンチモン含有酸化錫

(B) 5 ~ 40 重量%の水酸基含有多官能 (メタ) アクリレートとジイソシアネートの反応物

(C) 5 ~ 30 重量%の多官能 (メタ) アクリレート

(D) 0.5 ~ 10 重量%の光重合開始剤

【請求項 3】

前記表面処理が、前記針状アンチモン含有酸化錫を重合性不飽和基を有する有機化合物と結合させることを特徴とする請求項 2 に記載の積層体。

【請求項 4】

前記化合物 (D) が、少なくとも 1 - ヒドロキシシクロヘキシルフェニルケトンを含むことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の積層体。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の積層体からなり、前記第 1 層が低屈折率膜であり、前記第 2 層が高屈折率膜であることを特徴とする反射防止膜。

【請求項 6】

前記低屈折率膜がフッ素原子を含む化合物で構成されることを特徴とする請求項 5 に記載の反射防止膜。

【請求項 7】

さらに、前記高屈折率膜の下側にハードコート層と基材を含むことを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の反射防止膜。